



2020-2021 年度  
10月号  
NO. 373

# THE Y'S MEN'S CLUB OF

# TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

**EMC-E  
YES**

国際会長：Jacob Kristensen(デンマーク) 主題:「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長：David Lusa(ソフィア) 主題:「変化をもたらそう」  
東日本区理事：板村哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化をたのしもう！」  
関東東部部長：柿沼敬喜(東京グリーン) 主題:「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」  
東京ひがしクラブ会長：須田哲史 主題:「持続可能な未来を創ろう」

## 10月例会



とき 2020年10月8日(木)  
18:30~20:30  
ところ 東陽町センターYMCA ホール

受付 千代一郎  
司会 高野真治

### プログラム

開会点鐘  
ワイズソング/ワイズの信条  
開会あいさつ 会長 須田哲史  
ゲスト紹介  
食事  
ゲストスピーチ  
「SDGsのいろはの“い”」  
鈴木登志男氏(株SouGo 企画開発室部長)  
スマイル/各種報告  
閉会点鐘 会長 須田哲史

### 🕊 今月の聖句 🕊

『わたしたちが持っているこの希望は魂にと  
って頼りになる、安定した錨のようなもので  
ある。』

—ヘブライへの手紙 6章 19節—

### ☆千葉ウエストワイズメンズクラブ誕生☆

10月3日(土)、第24回関東東部大会が浅草橋ヒュー  
リックカンファレンスにて開催。開会式の後、千葉ウエ  
ストワイズメンズクラブの、国際協会加盟認証状伝達式が行  
われた。板村哲也東日本区理事による入会式と認証状伝達  
が行われ、続いて選出された方々よりメンバー8名にチャ  
ーターバッジが装着され、関東東部に11番目のクラブと  
して千葉ウエストワイズメンズクラブが誕生した。各位  
による祝辞、記念品贈呈、終わりに高田一彦会長より力強い  
決意表明と、吉崎 勇副会長の謝辞があり、出席者より大  
きな拍手による祝福が送られ伝達式が終了した。

今期第1号、Change!2022 プロジェクト第1号、そ  
して強調月間 EMC-E とトリプルでの誕生は、我々のここ  
ろに深く記憶に残る事でしょう。



\*\*\*\*\*

### 強調月間=EMC-E/YES

EMC=Extension(新クラブ設立推進)、Membership(会員  
増強)、Conservation(維持啓発)。今月は特に E を強調。  
YES=Ys Extension Support のことで、新クラブ設立を  
資金面で支援。

### 9月例会

出席者 9名 ゲスト 1名  
会員出席数 8名  
在籍数 15名  
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 57%

### スマイル

9月 7,000円  
累計 16,000円

### 2020-2021 年度役員

会長 須田哲史  
副会長 高野真治  
書記 金丸満雄  
会計 千代一郎  
担当主事 沖 利柯

9月10日(木)の本例会は、ウィズコロナ時代を先取りして、ハイブリッド例会(通常の会場での例会参加+zoom参加者もオンラインで参加)を実施。zoom参加者は、いつも仙台から、駆け付けてくださる竹内メンと、休会中にもかかわらず参加いただいた森村メン。

予定していたゲストスピーチは卓話者の都合で欠席となり、急遽クラブシンキングに変更し中心議題はChange!2022。昨年は、EMC特別賞(飯田直前会長4名紹介)、EMC優秀賞(クラブとして4名入会)、ノンドロップ賞(退会者ゼロ)、グッドスタンディング賞で、表彰を受けており、クラブとしては、地域に対し、魅力ある活動(下町こどもダイニング活動)を継続し、自然な形で協力者や共感者にお声をおかけし、入会頂いてきました。はじめに関東東部金丸直前部長より、これまでのChange!2022の経緯や、クラブメンバーの様々な意見・提案を一人ずつお聞きし、クラブへの思いを再確認。EMCへの新たな取り組みについて意見交換しました。人一倍、東京YMCA東陽町センターを支える意識の強いクラブなので、さらに活動をアピールすることの重要性を確認。日頃、声をおかけしていない入会希望潜在層(YMCA会員、元会員、リタイアシニア、異業種交流を望む様々な業界の方等)にもアプローチしてみてもどうかといった話し合いになりました。楽しみです。



### ★今月の誕生日

飯田歳樹メン(16日)

### ★今月の結婚記念日

今井一夫・爽子夫妻(15日)

須田哲史・由美子夫妻(8日)



### ▼熊本豪雨災害復興支援活動

7月に発生した熊本豪雨災害による被災者支援として、熊本YMCAは球磨村役場より「旧熊本県立多良木高校避難所」の運営委託を受けましたが、感染予防を徹底することで県外からのボランティアの受入体制が整い、全国YMCAから応援職員を派遣できることになりました。東京YMCAからも9月14日より10月末まで、交替で計9名の職員を派遣する予定です。同避難所には、復旧に時間のかかる被災地域からの住民約150名(9月17日現在)が避難されており、応援職員は、避難所内の衛生管理、食事補助、運動指導、避難所建物の応急修理など、避難生活全般のサポートを行います。なお、全国で引き続き「熊本豪雨災害・ポジティブネット募金」を受け付けていますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### ▼サマーファミリーキャンプ実施

今夏は新型コロナウイルスの影響により、子どもを対象とした通常のサマーキャンプは実施できなかったが、山中湖センター、及び野尻キャンプ場にて「家族キャンプ」を実施しました。計7回のキャンプに60家族、223名が参加し、好評でした。感染防止対策として定員を少なくした他、現地集合・解散とし、現地のプログラムは自由参加とするなど、新しい形式のキャンプとなりました。なお、同プログラムは、文部科学省の「子供たちの心身の健全な発達のための子どもの自然体験活動推進事業」の認定を受け、秋にも同様のキャンプを山中湖センターで企画しています。

### ▼第1回フードパントリー開催

食品などを無料提供する「パントリー」を、下町こどもダイニングとして、9月12日に江東区内9カ所のこども食堂と協働して実施しました。コロナ禍の影響やひとり親家庭など生活に困窮している21家族、37名の子どもたちに配布し、大変喜んでいただきました。また、実施にあたっては、株式会社SouGoはじめ、多くの企業や個人の方から、寄付や食品の提供をいただきました。今後も継続して実施予定ですので、ご協力よろしくお願いいたします。



先月にもご案内したチャリティーランですが、東陽町からはTYIS2チーム、社会体育保育専門学校1チーム、そして東陽町混成の1チーム、計4チームが参加します。ひがしクラブから頂いた寄付金は混成チームの参加費の一部に充てさせていただきました。

### ▼第34回インターナショナルチャリティーラン

先月にもご案内したチャリティーランですが、東陽町からはTYIS2チーム、社会体育保育専門学校1チーム、そして東陽町混成の1チーム、計4チームが参加します。ひがしクラブから頂いた寄付金は混成チームの参加費の一部に充てさせていただきました。

ひがしクラブからは須田会長はじめ、金丸さん、野澤さん、及川さんという精鋭メンバーが参加します。他東陽町チャリティーラン実行委員長の青木方枝さん(東京グリーン)やスタッフ合計20名で楽しく歩きたいと思っております。みなさん、応援してくださいね!